

『一生懸命』幻の新座市議会報告第53弾!



たかむらともや

2010年2月28日発行

③ 3月議会スタート

2月23日(火)よいよ3月議会がスタートしました。直ぐに議長・副議長・監査のいわゆる三役が選挙によって決まりました。議長は最大会派政和会から森田さん。副議長は共産党の笠原さん、そして公明党の亀田さんが引き続き監査をすることになりました。

各常任委員会の委員長もすんなり決まりました。各会派の事前の話し合いで決まっていたからです。勿論、語る会も協力しました。問題はその後でした。常任委員の選出で議運が暗礁に乗り上げたのです。僕は文教・総務・建設とやってきたので厚生を希望しました。3役は勿論、委員長にも副委員長にもなれず、重要なあて職にもつけないのが一人会派です。それでも今回は常任委員会くらいは好きなところへ行けると思っていました。2年前にも同じようなことがあり、政和会の並木さんと公明党の亀田さんをお願いされて泣く泣く建設に行った経験があったからです。今回は大丈夫だろう・・・という考えは甘いものでした。政和会と公明党が譲らず会議は夕方になっても終わりません。2年前と同じように二人をお願いされて、最後は僕が折れて、総務へ行くことで決着しました。初日からの徹夜議会はこうして回避されました。(詳しくは僕のホームページの2月23日の日記を御覧ください。)

③ 子ども医療費

この3月議会で大きな話題となったのが、子ども医療費の助成期間の延長でしょう。今までは小学校3年生までだったのが、今年度から小学校6年生まで窓口払い(通院分)が無料になります。我々子育て中の市民には嬉しい限りです。高い国保健康保険税の料も少し引き下げされます。市の歳入の根幹となる市民税が落ち込み、扶助費が増加する中、須田市長の決断には拍手をしたいところです。

③ 続ツイッター

Twitter(ツイッター)を始めてから3ヶ月目に入りました。どうやら新座市議会初のツイッター議員のようです。Twitterに登録して(勿論無料です takayanchan で検索すると僕の呟きを簡単に見ることができます。#nizaで検索すれば新座市に関する呟きを検索することができます。普通にインターネットでたかむらともやで検索しても見ることができます!)休憩時に控え室から呟いていますから、議会の様子が少し見えてくるかも知れません。「迫力ある演説があった」とか「また居眠りしている議員がいる」とか「市長の長い答弁が始まった」とか「傍聴人は3人」「議員の質問が鋭かった!」暫時休憩になった」議場で携帯が鳴った」とか・・・実際に傍聴しているような気分になれるかも知れませんね。前回の市長候補の田中ゆきひろもかなり呟いています。鳩山さんは駄目でしたが、自民党の山本一太さんからは返信が来ました。国会議員も沢山いますから、参議院選挙の前に本音をぶつけて見るのも面白いかも知れませんね。市民の方と意見交換ができる場でもあるので、これからもマメに呟きたいと思います。



写真は総務常任委員会の休憩中の一コマです。右手に持っているのは算盤です。僕の机の上はいつもこんな感じです。電卓2台と算盤は常にあります。

③ 22年度予算

予算審議が始まっています。今回の予算で注目すべきことは、市民税の大幅減でしょう。個人市民税が95億5952万、法人市民税が10億1972万と激減し、合わせて105億7924万円。(19年度は約125億)それに対して固定資産税は94億7951万、都市計画税が13億5450万で合わせると108億3401万となります。固定資産税と都市計画税の合計が市民税を上回るという予算になっているのです。市民の収入は激減しているのに、税金だけは上がっていく。そういう構図になってきました。みんなの収入が減ってきたのだから、無理はしないでゆっくりという。みんなの収入が減ってきたのだから、税金は下げようというのが普通感覚です。飢饉だから、年貢を上げようという感覚はおかしい。緊急性のない道路や箱物は今、造るべきではないのです。

③ 市長施政方針

須田市長は施政方針の中で「住んでよし 訪れてよしのふるさと新座」と言っています。その通りなのです。まず「住んでよし」なのです。それには市民が安心して学べる「学校」や「公民館」が整備されていることが必要です。安心して遊べる「公園」や「スポーツ施設」が充実していることが大事です。安心して働ける「保育園」や「学童保育室」が存在することが最低条件なのです。ところが新座市はこの分野が特に弱い。嘗ての「教育新座」は影をひそめ、先生達は疲れきっています。教育現場に余裕がないのに、駐車料金を取るのですからたまいません。他市へ異動したくなる気持ちも分かります。公民館・コミセンの有料化で市民の学ぶ環境が確保されなくなりました。公園やスポーツ施設の状態は市民のみなさんが感じる通りです。そして、今一番必要なのが保育園でしょう。国の方針も間違っていると思いますが、公立の保育園を作らない市長の方針には疑問を感じます。働きたくても働けない人たちが沢山います。大規模学童保育室の解消に消極的なことも問題です。国や県の基準に従わないということは保育の質の低下を意味します。住んでよしという意味は、安心して住めるという意味です。「観光」より先にやるのが沢山あるのです。

③ 4億4500万

今年は観光都市づくり事業に4億4500万の予算を組んでいます。観光都市づくりをして、税収の伸びる豊かなまちにする」と市長は言いますが、観光都市づくりに税金を注ぎ込んで、税収が伸びるといっては新座には永久に当てはまらないでしょう。

③ 埼玉県の借金の話

埼玉県の借金が3.5兆円になりました。埼玉県は税収で県の職員が賄えないところまで来ています。お金がないから、県道に市の負担を求めていく。都道は100%東京都が負担しますが、県道の5分の1は市が負担することになっているのです。しかも、保谷・朝霞線の場合、今までの県道は市に払い下げ(膨大な維持補修費は新座市が持つこと)道場部分は全額新座市負担(県道を市が造るんですよ！20億もかけて！)という条件を突きつけました。(それを飲む須田市長もおかしい！)県議会はそうなるまでいったい何をやっていたのでしょ。新座市は埼玉県のようになってはいけません。そういう市長の提出議案に100%賛成している議員が多すぎると(自民・公明・民主系で合計19名)危険です。

たかやんのプロフィール

本名たかむらともや。東京都新宿区生まれ。新宿区立西戸山中学、都立石神井高校を経て北海道大学へ。1977年から教師として五中・六中・二中で21年間を過ごし98年退職。どの政党にも、どの会派にも属せず一人会派「語る会」で、しがらみのない発言を続けている。新堀・石神「たかやん塾」塾長。障がい者支援団体「よこ糸をつむぐ会」メンバー。黒目川川づくり懇談会代表。石神3丁目在住。趣味はテニス。五中・六中の男女硬式テニス部を率いて、県大会は50回以上、関東大会5回、全国大会2回優勝。同時に学級通信「一生懸命」を20年間発行し続ける。議員日記は6年間毎日更新中。
ご感想・ご意見・ご提案をお待ちしています。 たかやん



たかやんの連絡先

自宅 042-456-8869

携帯 090-6497-5737

mail: takayanchan@jcom.home.ne.jp

〒352-0033 新座市石神3-19-32-106